



港湾空港技術研究所の構造研究チーム・材料研究チームの最近の話題を紹介します。

研究	約 40 年供用した RC 部材の載荷実験	
	<p>供用 40 年程度が経過して、塩害による劣化が顕在化して撤去された係留施設の渡橋から切り出した RC 部材の載荷実験を実施しています。目視により判定された劣化度と部材の構造性能の関係について調べていますので、結果については追って報告します。</p>	
研究	電気防食特性評価のための模型実験	
	<p>羽田空港 D 滑走路ジャケット式棧橋を模擬した 1/10 模型を用いて、水質環境や構造形式の違いが電気防食特性に及ぼす影響を評価するための実験を行っています。現在は、海水の抵抗率が変化した場合について検討しています。結果については追って報告します。</p>	
イベント	港湾技術 WG の特別講演会	
	<p>今年度から活動を開始した「港湾施設戦略的維持管理推進技術WG」は、偶発波浪 WG と耐波設計 WG と合同で、11/12 (木) に特別講演会を開催しました。室蘭工業大学の木村克俊教授には「海岸施設の背後における高波被害とその対策」について、京都大学の小林潔司教授には「我が国の社会資本施設の維持管理の方向性」について示唆に富んだ貴重なお話をいただきました。</p>	
イベント	前田建設との技術交流会	
	<p>11/17 (火) に、依頼研修員の松林さんの出向元である前田建設工業(株)との技術交流会を開催しました。同社が品川区内で施工中のシールドトンネルの建設現場を見学させていただくとともに、同社の本社会議室に場所を移して、双方の最近の研究成果について情報交換を行いました。</p>	

海外	2009 Steel Pile Consultation Committee Workshop に参加
<p>11/27（金）に、韓国鋼管杭協会主催の標記 Workshop において、「鋼管杭の腐食・防食」について講演しました。日本からは早稲田大学清宮教授と審良が参加しました。1泊2日と短い滞在期間でしたが、韓国技術者と技術交流ができて有意義な出張でした。韓国料理はおいしいですね。</p>	
	

ひと	長岡技大からの実務訓練生
<p>10月から、長岡技術科学大学から2名の実務訓練生を受け入れています。稲葉将吾くん（いなば しょうご:右、長崎県出身）には、港湾鋼構造物の電気防食特性について、陸賢くん（くが すぐる:左、新潟県出身）には、劣化部材の力学性能評価について、来年の2月まで実験や解析を行ってまいります。実務訓練は、同大学の4年生を対象に行われていて、当研究室が受け入れ始めて8年目になります。</p>	
	

最新の成果発表	
(1)	M. Iwanami: Care plan for port facilities, Ports & Harbors, Vol. 54, No. 6, pp. 22-23, 2009. 11.
(2)	岩波光保: 資産を後世へ引き継ぐ～維持管理を考慮した栈橋上部工, 港湾, Vol. 86, p. 28, 2009. 11.
(3)	立石晶洋, 岩波光保, 加藤絵万, 横田弘, 小林朗: FRP 接着による鋼管杭の補強効果に関する実験的検討, 鋼構造年次論文報告集, Vol. 17, pp. 681-688, 2009. 11.

メンバー紹介

氏名	役職	メールアドレス	血液型	今月のひと言
岩波 光保	チームリーダー	iwanami@	AB	この1年は早かった。
加藤 絵万	主任研究官	katoh-e@	AB	健康診断の結果、中年であることを自覚しました。
審良 善和	研究官（材料）	akira@	O	タイムリミットまで、あとわずか・・・
川端 雄一郎	研究官（構造）	kawabata-y@	A	脱肥満児
松林 卓	依頼研修員（構造）	matsubayashi@	A	ひたすら実験しました。体が痛いです・・・。
白藤 美穂	派遣職員	shirafuji-m@	A	やっと風邪が治りました。
稲葉 将吾	実習生（長岡技大）		O	最近、近所の小学生と友達になりました。
陸 賢	実習生（長岡技大）		O	久里浜の駅伝大会に参加しました。

※ メールアドレスの@以降は、pari.go.jpです。

連絡先	住所	〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1		
	電話	046-844-5059	FAX	046-844-0255
	URL	http://www.pari.go.jp/bsh/jbn-kzo/kuzo/kozo/index.html		